

各報道機関文教担当記者 殿

## 金沢大学コンテスト 第2回超然文学賞授賞者決定！

このたび、金沢大学は、**第2回超然文学賞の授賞者を決定しました。**

超然文学賞は、本学が昨年度から高校生を対象に創設した金沢大学コンテストの一つであり、**言葉について卓越した才能を持ち、将来、「言葉の力」「文学の力」を用いて多様な分野で活躍すること**を強く望んでいる高校生の不断の努力と才能を褒め称え、その志を勇気づけることを目的として、小説部門と短歌部門の2つの部門を設けた文芸作品コンテストです。

今回は、北は青森県から南は沖縄県まで、小説部門14名、短歌部門14名の応募があり、バラエティーに富んだ作品が集まりました。その中から、**小説部門6名、短歌部門5名の受賞が決定しました。**

**受賞者には、本学が2021（令和3）年度入試から実施する超然特別入試（超然文学選抜）への出願資格が与えられます。**

なお、小説部門および短歌部門の最優秀賞受賞作品の送付を希望される場合には、下記の「本件お問い合わせ」までご連絡願います。

また、金沢大学コンテストの詳細は、別添チラシおよび下記の本学 Web ページをご確認ください。

### 【金沢大学コンテスト】

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/contest>

■ 本件お問い合わせ ■

（金沢大学コンテストに関すること）  
金沢大学学生部入試課 奥野  
Tel：076-264-5162

（取材に関すること）  
金沢大学総務部広報室 上沼  
Tel：076-264-5024

## 第2回超然文学賞 授賞者

令和元年 10月 28日  
金 沢 大 学

## 小説部門

	氏名	作品名	所属学校 ・ 学年
最優秀賞	いながき みさと 稲垣 実里	波音と潮風	富山県立富山中部高等学校 3年
優秀賞	みうら ともな 三浦 友菜	炎の記憶	石川県立金沢二水高等学校 2年
優秀賞	ひろつじ みずき 廣辻 瑞紀	いつか、もう一度	北陸学園北陸高等学校 3年
佳作	ほんだ あやか 本田 彩夏	冬眠、春を待たず	富山県立南砺福野高等学校 3年
佳作	すずき こうすけ 鈴木 康祐	セピア色の雨雲	学校法人名古屋学院名古屋高等学校 2年
佳作	くさま せいじ 草間 聖治	ふみきり	本郷高等学校 2年

応募数：14名

## 短歌部門

	氏名	作品名	所属学校 ・ 学年
最優秀賞	まつだ わこ 松田 わこ	きんぴらごぼう	富山県立富山高等学校 3年
優秀賞	はらだ しゅん 原田 駿	確と見よ	学校法人名古屋学院名古屋高等学校 3年
佳作	やちむら すばる 谷地村 昂	背泳ぎ	青森県立八戸高等学校 2年
佳作	しおざき たつや 塩崎 達也	Do your best	学校法人名古屋学院名古屋高等学校 3年
佳作	なかもと りいあ 仲本 栞衣采	封蠟	沖縄県立那覇高等学校 3年

応募数：14名

# 超然文学賞

君の言葉が未来を拓く。

A-1に代表されるテクノロジーの進化やグローバルゼーションなど、私たちの社会は大きな変化のときを迎えています。そのような時代に、文学は無力なのでしょうか。そんなことはない、と考える若い人たちがいます。本学が位置する金沢では、多くの作家たちが、磨き抜かれた言葉の力で文学を創造してきました。金沢大学は、言葉の力で未来を切り拓く才能を送り出したと考えています。

## 受付期間

2019年 8/1 (木) - 8/30 (金) 必着

## 応募部門

「小説」部門 小説 1人1編(400字詰め20枚以上30枚以内)

「短歌」部門 短歌 1人15首

## 応募資格 (①を満たし、かつ②、③、④のいずれかを満たす者)

- ① 2019年度中に高等学校、または中等教育学校後期課程に在学している者。
- ② 高等学校または中等教育学校後期課程に在学中に、全国規模の組織が主催しているまたは文部科学省が後援している文学コンクールの小説部門、短歌部門で入選以上の成績を取ったことが有る者、または全国紙の歌壇欄に作品が掲載された経験の有る者。
- ③ 高等学校または中等教育学校後期課程に在学中に、各都道府県規模の組織または各種公共団体、新聞社、出版社などが主催する文学コンクールの小説部門、短歌部門で上位入賞を果たしたことが有る者。
- ④ 所属学校長より推薦を受けた者。

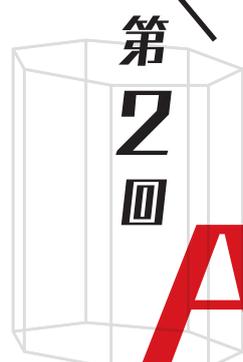
## 応募方法

本学Webサイト <https://www.kanazawa-u.ac.jp/contest> にてご確認ください。

Chozen



求む!世界で戦う日本代表チーム



第  
2  
回

日本数学

エ - リ ソ ピ ア - ド

A-lympiad

金沢は近世には加賀百万石の城下町として発展しましたが、その事務運営を行ったのは高い数学的知識と技能をもった算用者たちです。現代でも複雑化した社会で問題を発見し解決するためには、数学の活用は欠かせません。金沢大学では「現代の若き算用者」の発掘を目的に、「日本数学 A-lympiad」を開催します。これはオランダで開催される世界大会「Math A-lympiad」に参加する日本代表チームを決める国内唯一の予選会です。

参加申込期間 | 令和元 2019 10.1 tue. - 31 thu.

開催日時 | 令和元 2019 11.24 sun. 9:00a.m.-4:00p.m.

開催場所 | 金沢大学及び各参加チーム所属校内

応募資格 | コンテスト開催時に同じ学校に在学する高等学校1・2年生  
または中等教育学校4・5年生の者、3~4名で構成するチーム

応募方法 | 申込期間中に本学webサイトから申し込み

本大会での成績優秀チームを2020(令和2)年3月に  
オランダで開催される世界大会に日本代表として派遣します

問い合わせ先 | 金沢大学高大接続コア・センター「日本数学A-lympiad」担当  
〒920-1192 石川県金沢市角間町  
[webサイト]<https://www.kanazawa-u.ac.jp/contest>  
[email][a-lympiad@adm.kanazawa-u.ac.jp](mailto:a-lympiad@adm.kanazawa-u.ac.jp)



金沢大学  
KANAZAWA  
UNIVERSITY

主催:金沢大学 後援:公益社団法人 日本数学教育学会

# 数学で社会問題に挑め!

# チームで答えを導きだせ!



## 日本大会参加者の声

この大会ではいかに論理的に考察できるか、ということが非常に重要であり、私たちが普段忘れがちな「論理的に考える力」というものを身につけることができました。

この大会は問題が英文なので、英語が得意な人はもちろん、地理的知識や物理など、本当にたくさんの要素が含まれており、誰でも活躍することができます。数学がそこまで得意ではないという人でも考える価値が十分にある問題だと思います。

世界大会では  
他国参加者との交流も



成績優秀チームは  
オランダで開催の  
世界大会に派遣!!

## 参加者の声

世界大会参加証を受け取る  
日本代表チーム

## 世界大会参加者の声

英語でレポートを書くことや、数学を社会問題の解決に使うといった体験は、学校でもなかなかできないことであり、私たちににとってはとても新鮮でした。問題を解くことも非常に楽しかったのですが、アムステルダムの街の散策も、非常に興味深いものでした。オランダの文化に触れることで、衝撃を受けたことが多々ありました。

大会中、他の国の参加者と話をする時間も設けられていました。この時間では、コミュニケーション能力を活かして、他の国の様々な文化や生活を知ることができ、本当に貴重な交流でした。

## 解いてみよう

### 過去問

2017年予選会/  
一部抜粋

まずは力試し!!

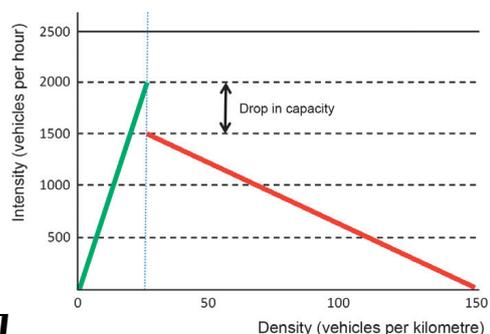
### “Jumping (for joy in) the queue” Preliminary

#### Graphical representation

There is a difference between road capacity in “free flow” and road capacity when there is congestion. The graph on the right represents a linear approach of the relation between density and intensity.

The left branch of the graph represents the relation when there is “free flow”. The speed is constant, and density and intensity increase from left to right.

The right branch represents the relation when there is traffic congestion and delay, with the density increasing and the speed decreasing from left to right.



Q

In the graph you can see that for a density of 25 vehicles per kilometre, the intensity drops as clearly as possible. Calculate the accompanying speeds, and describe as clearly as possible what the drop in capacity means in this case.

このグラフで、1キロメートル当たり25台の車の密度のとき、強度の値は落下する。その際の両速度を計算し、この場合の容量の急落が意味することをできるだけ明瞭に説明しなさい。

もっと解いてみたい人はこちらから

